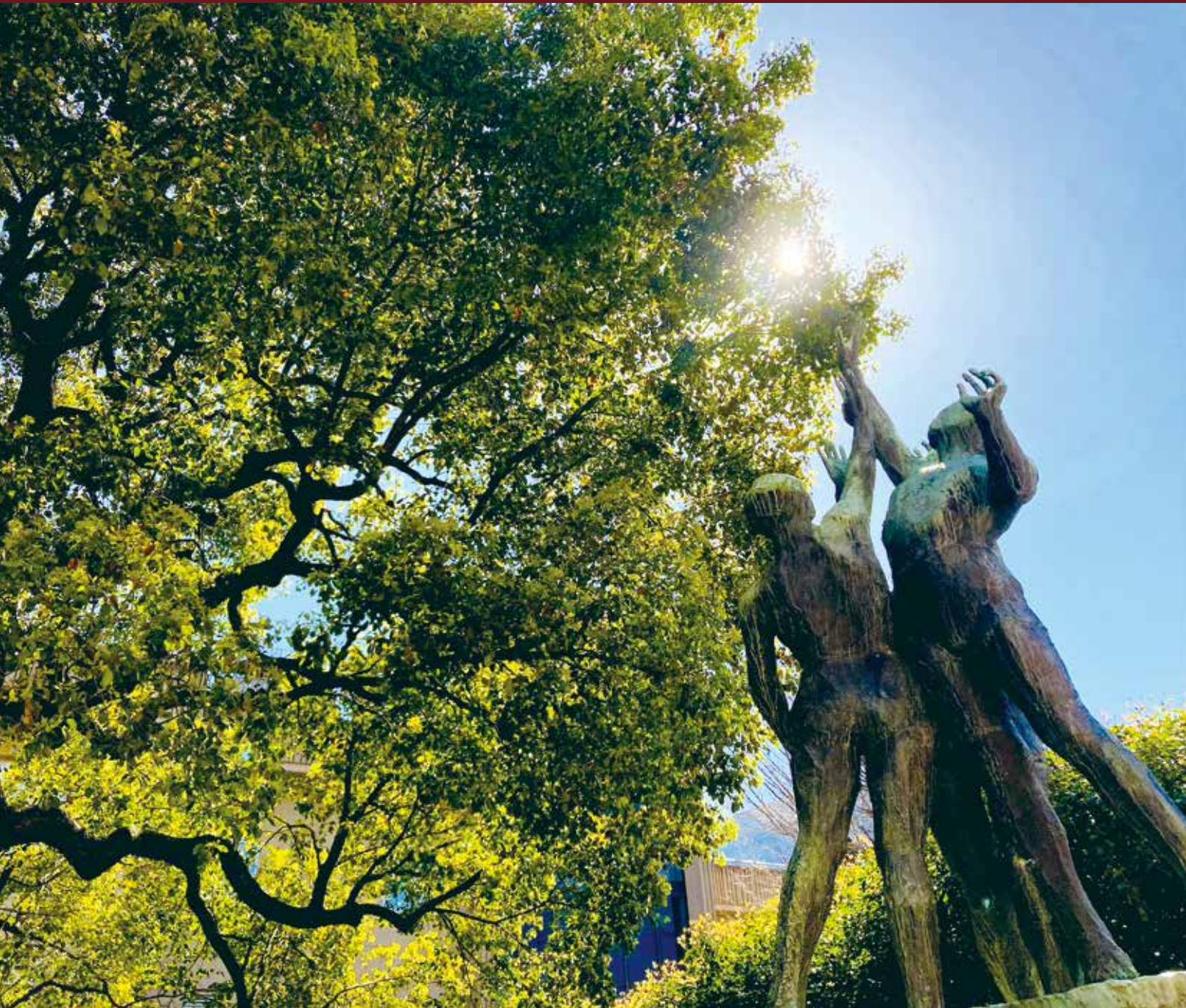




東京都立日比谷高等学校

令和7年度版 学校案内



日比谷

本校を目指す中学生へ



「学問の本質に触れる楽しさ」と「知の創造」

校長 萩原 聡

本校は、将来、日本のみならず世界で活躍するリーダーたる高い資質をもった生徒に対し、自律的人格を涵養し、豊かな教養を身につけさせ、国家や社会に対する責任と使命を自覚させるとともに、難関国公立大学等への進学希望も実現させることのできる学校として、東京都教育委員会から進学指導重点校に指定されています。

グローバル社会の進展や人工知能の飛躍的な進化など急速に変化する社会にあって、習得した様々な知識・技能を活用し、新たな価値を生み出す創造的・論理的思考力、物事の真理や意味を追究する探究力、情報活用能力等を伸ばさせることが期待されています。特に、グローバル化に対応するためには、実践的な語学力の習得とともに、日本人としての自覚と誇りを涵養すること、豊かな国際感覚を醸成すること、他者の考えを理解した上で自らの考えを論理的に説明し、説得することのできる能力を身につけることも必要です。

日比谷高校の教育課程は全科目履修型の教養主義で、そのうえで様々な取組を行っています。文部科学省指定のスーパーサイエンスハイスクール

(SSH) 事業の一環としての探究活動では、1年生全員が「理数探究基礎」を履修します。「理数」を冠した科目ではありますが、自然科学だけでなく人文科学、社会科学もテーマにできること、個人研究ではあるものの、教員を含む小グループ内での意見交換ができることなどが、協働を重視する本校らしい取組です。また、東京都教育委員会からGlobal Education Network 20 (GE-NET20) や海外学校間交流推進校の指定も受けており、世界に視野を広げる様々なプログラムも実施しています。本校は、生徒自身が、授業、学校行事、部活動、生徒会・委員会活動など学校生活全般を通して、新たな知や価値を創造する上で土台となる確かな学力と教養を身につけ、様々な取組に対しチームで協働作業を行う中で人間性を育み、卒業後も将来にわたり飛躍を求めて学び続け、人類の平和や社会の発展に貢献できるグローバルリーダーの育成を目指しています。

日比谷高校は、高い志をもった生徒たちが集い、切磋琢磨しながら互いに高め合う学校生活を送っています。自らの能力を日比谷高校でより一層伸ばさせようという高い意欲をもつ皆さんを待っています。

スクール・ミッション

「自律的人格」「学習と教養」「責任と協調」「心身の健康」「文化と平和」を教育目標に、自主自律、文武両道の精神を貫くとともに、学問の本質に触れる楽しさや知的好奇心を喚起する様々な取組を行い、21世紀を逞しく切り拓くグローバル・リーダーとして活躍する人材を育成します。

教育目標

- 1 自律的人格**
自律的で個性豊かな、しかも調和のとれた人格を確立し、進んでものごとを実行していく態度を養う。
- 2 学習と教養**
自主的・自発的な学習活動と特別活動を通して知性と情操を磨き、将来社会の有為な形成者となるための豊かな教養を身につける。
- 3 責任と協調**
学校組織の一員として自己の責任を果たすと同時に、互いの立場を考え、協力していく態度を養う。
- 4 心身の健康**
清潔で健康な生活を心がけるとともに、進んで心身を鍛え、困難にあってもくじけない強い気力を養う。
- 5 文化と平和**
わが国ならびに世界各国の文化と伝統の理解を深めるとともに、国際協調の心構えを養う。

カリキュラム

本校は、前期・後期の二期制で、三大行事の体育大会、合唱祭、星陵祭はいずれも前期に行われ、後期は教科学習に集中します。

年4回の定期考査は、概ね次の時期になります。

6月上旬	前期中間考査
9月上旬	前期期末考査
12月上旬	後期中間考査
3月上旬	後期期末考査 (1・2年生のみ)

完全学校週5日制のもと、1日7時間制を採用し、週35時間の時間割を組んでいます。

授業の1単位時間は45分ですが、密度の濃い授業により50分授業と同様の効果を目指しています。



時間割例（1年生）

		月	火	水	木	金	土
1	8:25 ～9:10	英語 [英語]	数学	英語 [英語]	地学基礎	論理・表現Ⅰ	土 曜 講 習
2	9:20 ～10:05	体育	地理総合	数学	数学	生物基礎	
3	10:10 ～10:55	体育	英語 [英語]	数学	公共	生物基礎	
4	11:05 ～11:50	地学基礎	現代の国語	公共	地理総合	芸術	
5	12:00 ～12:45	現代の国語	生物基礎	論理・表現Ⅰ	歴史総合	芸術	
6	13:30 ～14:15	数学	情報Ⅰ	言語文化	言語文化	歴史総合	土 曜 講 習
7	14:25 ～15:10	数学	情報Ⅰ	T	保健	言語文化	
8	15:20 ～16:05	人間と社会		理数探究基礎			
9	16:05 ～16:50	不定期に実施					

注1 「数学」は、前期が「数学Ⅰ」、後期が「数学A」及び「数学Ⅱ」。
注2 「T」は、ホームルーム活動（本校は「学級タイム」と呼称）。
注3 「芸術」は、「音楽Ⅰ」「美術Ⅰ」「書道Ⅰ」から選択。

令和7年度入学生 教育課程表

1年次共通必修	単位数	2年次共通必修	単位数	3年次文類型必修	3年次理類型必修	単位数
現代の国語	2	論理国語	2	論理国語		2
言語文化	3	古典探究	3	政治・経済		2
地理総合	2	日本史探究	2	体育		3
歴史総合	2	世界史探究	2	英語コミュニケーションⅢ		4
公共	2	数学Ⅱ	3	論理・表現Ⅲ		2
数学Ⅰ	3	数学B	1	古典講読	5	7
数学Ⅱ	1	数学C	1	世界史演習	4※	
数学A	2	物理基礎	3	日本史演習		2
生物基礎	3	化学基礎	3	地理探究	2	
地学基礎	2	体育	3	英語コミュニケーションⅢ		2
体育	2	保健	1	総合的な探究の時間	1	
保健	1	芸術Ⅱ (音美書)	2※	数学Ⅲ	5	4※
芸術Ⅰ (音美書)	2※	英語コミュニケーションⅡ	4	数学C演習	2	
英語コミュニケーションⅠ	3	論理・表現Ⅰ	2	物理	4	4※
論理・表現Ⅰ	2	情報Ⅰ	2	化学	4	
情報Ⅰ	2	理数探究基礎	1	生物	4	4※
理数探究基礎	1	人間と社会	★	物理学	4	
人間と社会	★	自由選択科目(0～11)		生物学	4	4※
		自由選択(0～4)		理数探究	2	
		第2外国語	2	理数探究	2	4
		理数探究	2			
		35単位				25～36単位
						35～39単位

注1 1単位とは、通年の場合週に一時間(45分)授業があることを示します。
注2 「人間と社会」を「総合的な探究の時間」にあてます。
注3 ※はそれぞれの枠内で1科目を選択します。
注4 「第2外国語」は、ドイツ語、フランス語、中国語、ハンダ語の中から選択します。
注5 ☆「人間と社会」は、1、2年次の2年間で1単位を履修します。
注6 自由選択科目を履修しなくても、卒業に必要な単位を修得可能です。

教科指導

(令和5年度以前の写真も含まれています)

国語

表現されたものを正確に理解し、理解したことを的確に表現する力、それが国語の学習で養う力です。これは、すべての教科学習の基礎となる力とも言えるでしょう。

国語科では、古典を含むさまざまな良質の文章を、副読本や問題集を活用しながら幅広く段階的に読み進めることで、語彙力を高め論理的思考力を伸ばす指導を工夫します。

また、一斉の講義だけではなく、グループ学習や発表学習を積極的に採り入れることで相互に個性を高め合い、総合的な国語力が伸長する授業を展開しています。



地歴・公民

【歴史総合】「日本史」と「世界史」を融合して日本と世界の歴史を関連づけ、資料を活用しながら、近現代の歴史を考察します。

【地理総合】身近な「もの」や「地域」から世界全体に至るまでの事象を扱いながら、地理的な見方や考え方を養います。

【公共】現代の諸課題について倫理・法・政治・経済的に追究したり解決方法を探究したりします。また主権者教育、消費者教育、金融教育にも取り組みます。

【日本史探究】史・資料を重視し多用することで、素材に基づいて自ら考える学習を行います。

【世界史探究】進学指導の充実を図る中で、歴史学の基礎的教養の獲得を目指します。

【政治・経済】政治・経済分野の基礎的知識の習得と共に、それを生かした見方・考え方を身につけます。



◀ 社会科ホールの世界地図

数学

1年次は、教科書や問題集を用いて基礎力を充実徹底させます。

2年次は、基礎に加えて、より発展的な内容の習得も目指します。また、生徒の多様な進路に対応した習熟度別多展開授業を行います。1・2学年で、全員が大学入学共通テストに十分対応できる力を身につけることを目標とします。

3年次理系選択においては、「数学Ⅲ・数学C演習」を必修とし、他は自由選択となります。「数学Ⅲ・数学C演習」は前期で教科書の内容を終え、後期は大学入試問題演習を行い、国公立大理工系・医学系学部にて現役合格可能な学力の習得を目標とします。また、文系選択においては、「文系数学演習」で年間を通して大学入試問題演習を行います。



理科

自然に対する関心と探究心を高めることを第一の目標にしています。

【地学】地球や宇宙に対する関心を深め、自然を総合的に見る能力を育てます。

【生物】生命と生物世界の不思議さを解き明かす能力を高めます。

【物理】基本原理・法則を理解させ、物理学的に探究する能力を高めます。

【化学】化学の基本概念や原理・法則を理解させ、化学的に探究する能力を高めます。



英語

1年次では、基礎力の養成と積極的なコミュニケーションを図る姿勢を養い、2年次では書き手の意図を読み取る力と、自分の考えを明確に文章に表す力を伸ばします。3年次では、応用力の養成を目指し、特に読む力と書く力を強化します。

これらの目標実現のために「論理・表現」では少人数のクラス編成をとります。また英米の教材や四技能検定試験なども取り入れて、単に大学受験だけでなく将来社会で必要とされる英語力がつくような授業を行います。



保健体育

【体育】運動の基礎を学ぶとともに体力の向上を図り、運動に対する興味・関心を高める事を目標としています。豊かな心身の育成と、運動を含めたあらゆることに主体的に行動できるようになる事を目指します。

【保健】健康・安全についての理解を深め、健康的な生活が送れるよう、心身の健康の保持増進に関する知識や実践力を養います。



芸術

【音楽】発声や奏法の基礎技能を学び、豊かな響きと、美しいハーモニーを探求します。独唱、合唱の他に、ア・オペラ重唱、アンサンブル活動（リコーダー他）等の舞台創作にも取り組み、表現力・創造力を高め、感性を磨いていきます。

【美術】1年次は、デッサン・油絵・デザインなど、美術の基礎力となる描く力を高める学習を行い、2年次は絵画・彫刻・映像などの学習を行います。

【書道】様々な書体・書風の古典作品を通じ、多様な表現技法を身に付け、創意工夫を凝らした書作品をつくり上げます。2年次ではグループでの制作・研究活動など1年次に学んできたことをさらに深めます。



家庭

これからの人生や生活を自分らしく送ることができるよう生きていく力を学ぶ教科です。

家族関係や消費生活、衣・食・住、保育、環境などの授業を通じ、生活の自立に必要な知識や技能を身に付けると共に、社会や世界も見定め、自分の生活設計を考えていきます。



情報

情報科では、問題の発見・解決に「情報」を適切かつ効果的に活用する資質や能力を育成します。具体的な学習内容としては、情報社会・問題解決・コミュニケーション・情報デザイン・コンピュータ・プログラミング・情報通信ネットワーク・データの活用があります。IoT、ビッグデータ、AIなどが活用される社会において、基礎となる学びです。情報科での学びを通して、価値創造型の問題解決能力を身につけましょう。



第2外国語

ドイツ語、フランス語、中国語、* ハングルのの中から選択できます。

ドイツ語、フランス語は、それぞれドイツ人の先生、フランス人の先生とのティームティーチングです。発音と会話を中心とした学習を行います。

中国語、ハングルでは、読み書きになれるとともに、それぞれの文化について理解を深めていきます。

*本来「ハングル」という名前の言語はありませんが、本校では Korean の言語をこのように呼んでいます。



SSH スーパーサイエンスハイスクール

本校のSSHの特徴は、全校生徒が対象であり、文系理系に拘わらず誰でも自主的に希望すれば参加活動出来るのが大きな特徴です。東京大学をはじめとする近隣の大学や研究機関と連携を図り、学問や科学技術の最先端の現場に直接触れ、第一線の研究者の助言・指導や講義を受けられる機会を設け、生徒の進路選択や学問追究のモチベーションの高揚に努めています。1年次では全員が「理数探究基礎」に取り組むとともに、2年次では「理数探究」、3年次では「理数探究発展」を選択科目として探究活動を実施しています。SSH指定18年目となり、卒業生の中には、すでに博士課程や海外の大学に進学・留学する生徒も大勢出始めています。

SSHの具体的な取組の一部紹介（実施例）

- ・ 高大連携、産学連携に向けた取組
 - SSH特別講演会や大学教授による出張授業・研究室訪問と研究体験
 - 企業講演・工場見学
 - 創造性を育む探究的な授業の指導法の開発
- ・ 国際化に向けた取組
 - 海外の大学・企業との交流や連携
 - 米国西海岸・ハワイ島海外派遣研修
 - 英語による各種講演会
 - 生徒の英語によるプレゼンテーション
- ・ 生徒による課題研究活動の推進
 - 各種研究発表会参加
 - 科学オリンピック・コンテスト等への積極的参加

（過去5年間の取組の様子）



授業「理数探究」中間構想発表会



SSH特別講演会



東京大学理学部化学科訪問



理化学研究所訪問



英語による現代物理学講座



城ヶ島地質巡検

SSH米国シリコンバレー（サンフランシスコ・サンノゼ）・ハワイ島海外派遣研修（令和元年度実施の様子）



カリフォルニア大学パークレー校



キラウエア火山トレッキング・レクチャー



富士通アメリカ



すばる天文台

SSH国内派遣研修



大島フィールド実習（地層断面）



沖縄派遣研修（サンゴ養殖体験）



北海道研修（大雪山旭岳での実習）



福島研修（中間貯蔵工場情報センター）

Global Education Network 20

「人類の平和や社会の発展に貢献できるグローバルリーダーの育成」を目標に掲げ、海外派遣研修の実施や国際理解教育の推進、外国語教育の充実など、積極的に事業を展開しています。東京都教育委員会からは、「Global Education Network 20」、「海外学校間交流推進校」の指定を令和4年度より受けています。

具体的な取組の一部紹介

- ①グローバルリーダー育成研修
- ②ミチュホル外国語高等学校（韓国）との姉妹校連携による相互訪問交流
- ③その他の事業
大学や研究所、大使館などの外郭団体とも連携し、研修や講演会等を実施
- ④英語教育の充実（JET英語指導員の配置、オンライン英会話、ケンブリッジ英語検定の受験など）

①グローバルリーダー育成研修



ハーバード大学にて



MIT 教授による講義

令和2～4年度は国内で研修しました



東大農学生命科学研究科教授による提言作成指導



アスペン研究所への提言発表



国際バカレア授業体験



ウォール街にて講義



アスペン研究所でのプレゼンテーション



国際連合本部見学

②姉妹校交流



韓国・ミチュホル外国語高校との交流



令和4年度オンライン交流の様子



③その他の事業（一部紹介）



ハーバードプライズブック授与式



全国高校生フォーラム参加



ディベート大会参加



JETによる特別授業『米国最高裁判決について』



経産省訪問「福島復興への取組」



三井住友銀行本店訪問



メキシコ大使館文化交流



オンライン英会話（1年）

学校行事

(令和5年度以前の写真も含まれています)

4	<p>前期始業式 入学式 生徒会役員選挙 健康診断</p>
5	<p>生徒総会 遠足 体育大会 前期中間考査</p>
6	<p>合唱祭</p>
7	<p>英語スピーチコンテスト 夏季休業（～8月） 夏期講習 部活動合宿 夏季校外行事 ・臨海教室（千葉勝山寮） ・夏山キャンプ</p>
8	<p>夏期講習 部活動合宿 グローバルリーダー育成海外研修</p>
9	<p>前期期末考査 卒業生講演会 星陵祭 前期終業式</p>

三大行事

5月の体育大会、6月の合唱祭、9月の星陵祭は日比谷高校「三大行事」と呼ばれています。生徒自らが考え、主体的に作り上げる伝統的な行事です。



◀ 入学式
▼ 体育大会



▼ 合唱祭



校外行事

臨海教室、夏山キャンプ、スキー教室は、長期休業期間中に希望者を募って実施する、伝統的な校外行事です。日比谷のOB・OG組織が指導を行います。



臨海教室



臨海教室



後期始業式
実力テスト
進路講演会
姉妹校交流（韓国受入）

10

後期中間考査（11～12月）

11



冬季休業（～1月上旬）
冬期講習
冬季校外行事
・スキー教室（長野県志賀高原）

12

冬期講習

1

後期期末考査（1・2学年）
（2～3月）

2



▲ 星陵祭

▼ 卒業式



卒業式
修学旅行（2学年）
星陵セミナー（2学年）
球技大会
修了式
春季休業
春期講習
姉妹校交流（韓国訪問）

3



夏山キャンプ



スキー教室

部活動

(令和5年度以前の写真も含まれています)



男子バスケットボール部



ラグビー部



柔道部



女子バレーボール部



女子バスケットボール部



サッカー部



剣道部



男子バレーボール部



水泳部



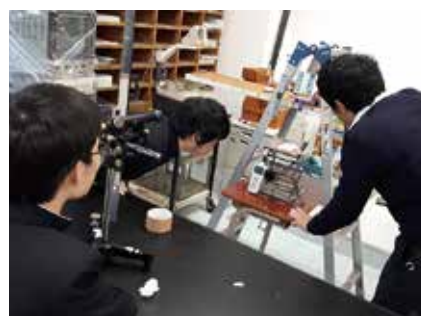
陸上競技部



弓道部



硬式野球部



物理地学研究部



碁曲部



音楽部（合唱班）



音楽部（オーケストラ班）



天文部



茶道部

運動部

弓道部・柔道部・剣道部・硬式野球部
サッカー部・ラグビー部・陸上競技部
硬式テニス部・ソフトテニス部
バドミントン部・ダンス部
男子バスケットボール部
女子バスケットボール部
男子バレーボール部
女子バレーボール部
卓球部・水泳部

文化部

音楽部（オーケストラ班・合唱班）
茶道部・生物研究部・天文部
軽音楽部・箏曲部・美術研究部
棋道部・演劇部・化学探究部
雑草研究部・物理地学研究部
漫画文芸部・写真部・クイズ研究部
ESS 同好会

令和5年度 部活動・SSHなど主な活動実績

剣道	東京都高等学校春季剣道大会兼関東大会 団体予選 ベスト16(男子)[関東大会まであと1勝] 東京都高等学校総合体育大会 剣道の部 男子団体 ベスト32 男子個人 本大会出場 東京都高等学校新人剣道大会 男子団体 ベスト32	軽音楽	令和5年度東京都高等学校文化祭軽音楽部門大会 (バンドフェスティバル)・決勝大会進出
硬式野球	春季大会本大会出場 (64 チーム) 秋季大会本大会出場 (64 チーム)	美術研究	第42回全国高等学校弓道選抜大会 プログラム表紙図案 優秀賞 東京都高等学校文化祭美術・工芸部門 中央大会(中央展) 出品
サッカー	令和5年度総体予選中地区3回戦進出 令和5年度選手権東京都一次予選1回戦敗退 令和5年度第4地区新人選手権1回戦敗退 令和5年度第4地区ユースリーグ3部A 優勝(2部昇格)	演劇	令和4年度東京都高等学校演劇コンクール 地区発表会(中央地区) 奨励賞
ラグビー	東京都高等学校新人大会 全国高等学校7人制ラグビーフットボール大会 東京都予選2次リーグ 春季大会 全国高等学校ラグビーフットボール大会 東京都予選	化学探究	R5.03 化学クラブ研究発表会金賞受賞 R5.08 化学部交流会で発表 R5.08 サマーサイエンスセミナーで研修に参加 R5.08 SSH 全国生徒発表会代表として参加 R5.09 星陵祭参加 演劇実験と実験教室開催 R5.09 金属学会高校生・高専学生ポスター 最優秀賞受賞 R5.09 日本学生科学賞奨励賞受賞(広領域) R5.09 日本学生科学賞奨励努力賞受賞 (化学領域)
陸上競技	東京都高等学校陸上競技大会 男子3000mSC 8位 東京都高校駅伝大会 男子11位 ※その他都大会出場あり	雑草研究	R5.03 秩父フィールドワーク R5.07 国立科学博物館筑波実験植物園で フィールドワーク R5.09 星陵祭(展示・クロマトグラフィー実験) R5.12 日本経済新聞掲載 R6.03 あしががフラワーパークでフィー ルドワーク
硬式テニス	東京都高等学校新人テニス選手権大会 男子シングルス4R 進出2名 男子ダブルス3R 進出1組 男子団体2R 進出 東京都立高等学校テニス選手権大会 女子シングルス5R 進出1名	写真	第46回東京都高等学校文化祭写真部門 中央大会 5作品入賞(うち1作品は佳作) 第30回関東地区高等学校写真展(栃木大会) 1作品出展
水泳	東京都関東予選大会出場 (50m 男子自由形、100m 男子自由形)	SSHの主な活動	第67回日本学生科学賞東京大会 努力賞(生物部門)、努力賞(広域部門)、 奨励賞(化学部門) 第23回JSEC(一次審査)佳作 日本金属学会第11回高校・専門学生 ポスターセッション 最優秀ポスター賞 第40回化学クラブ研究発表会 金賞 第13回科学の甲子園東京大会 物理部門 第1位 数学部門 第1位 第24回日本情報オリンピック本選 優秀賞 (本選Aランク) ※第36回国情情報オリンピック日本代表 選手候補として春季トレーニングに参加 数学オリンピック 2名予選通過 物理オリンピック 1名本選出場 地学オリンピック 1名一次予選通過 化学グランプリ2023 支部奨励賞
男子バスケットボール	関東予選東京都大会 2回戦 インターハイ予選東京都大会 2回戦 新人戦第一支部大会 3回戦	GE-NET20	HPDU (High School Parliamentary Debate Union of Japan) 2024 全国第3位
女子バスケットボール	関東大会東京都予選会 2回戦進出 東京都夏季大会H支部 第3位入賞	書道	第48回ふれあい書道展 特選 1年2名 第24回高校生国際美術展展一書の部一 佳作 2年1名 第22回岐阜女子大全国書道展 大学賞 3年1名 第36回東京都高等学校文化連盟書道展 奨励賞 3年1名 第42回道風の書臨書作品展 入選 3年1名 2年1名 1年3名 第28回全日本高等学校書道コンクール 協会賞 3年1名 1年1名 第57回高野山競書大会 高野山管長賞 1年1名
男子バレーボール	関東大会東京都予選会 2回戦出場 全国高等学校総合体育大会兼団体東京都予選 2回戦出場 都立高校男子バレーボール大会出場 全日本バレーボール高等学校選手権大会 1次予選出場 東京都高等学校6人制バレーボール男子新人大会 2回戦出場	音楽	東京都高等学校文化祭音楽部門 第1地区大会 (オーケストラ) 東京都高等学校文化祭音楽部門 中央大会 KIOI JAZZ WEEK
女子バレーボール	関東大会東京都予選会 2回戦進出(決勝大会出場) 新人大会 男子団体2回戦進出 地区別大会 女子シングルス 東地区ベスト16	ダンス	日本高校ダンス部選手権 バトルトーナメント出場
卓球	春季卓球大会 男子団体・ダブルス・シングルス 出場 インターハイ予選 男子団体・ダブルス・シングルス 出場 千代田区春季卓球大会 シングルス予選 リーグ勝ち残り・決勝トーナメント進出 国公立卓球大会 男子シングルス 5回戦進出(決勝大会出場) 新人大会 男子団体2回戦進出 地区別大会 女子シングルス 東地区ベスト16	生物研究	東京都SSH指定校合同発表会にて ポスター発表に参加 SSH成果報告会ポスター発表に参加 東京都生物部交流会に参加

歴史と伝統・先輩方

本校は明治11年(1878年)に、東京府第一中学としてうまれました。

その後、明治32年に日比谷公園のとなりに校舎が移り、昭和4年(1929年)に現在の永田町の校舎となりました。当時は東京府立第一中学校という名称でした。

校地は星が丘と呼ばれる高台にあり、江戸時代には岸和田藩主岡部家の屋敷、大正時代には銀行家の村井吉兵衛の屋敷だったところです。今でも村井邸の石垣と倉庫(現在は本校の記念資料館になっている)がそのまま残されています。昭和25年に、日比谷高校という名称となり、男女共学の新制高校として現在に至っています。

本校は昭和53年に創立100周年を迎え、それを機に校舎を全面改築することになり、4年の歳月をかけて現在の位置に校舎が完成しました。

そして、平成30年(2018年)には創立140周年記念式典を挙行了しました。この140年を超える歴史の中で、「文武両道」という理念と、「自主自律の精神」という校風が生まれ、その理念と校風は今日まで引き継がれ、今も尚、脈々と息づいています。

卒業生の中からは、日本画家・横山大観(明治18年卒)、作家・谷崎潤一郎(明治38年卒)、陶芸家・浜田庄司(大正2年卒)、作家・大佛次郎(大正4年卒)、評論家・小林秀雄(大正9年卒)、政治学者・丸山眞男(昭和6年卒)、評論家・江藤淳(昭和28年卒)、作家・庄司薫(昭和31年卒)、作家・塩野七生(昭和32年卒)、ノーベル生理学・医学賞受賞者・利根川進(昭和33年卒)など、各界にわたり著名人が多く輩出されています。

また、夏目漱石も少年時代の一時期に本校で勉強していました。



日比谷高校旧校舎



日比谷高校正門



浜田庄司作 大壺



横山大観作「富士」



大望遠鏡「すばる」を誕生させた 小平 桂一 先輩

小平氏は本校を昭和30年に卒業した先輩で、現在、東京大学名誉教授です。

先輩は、国立天文台長として在任中に半生を懸けて、科学者・技術者・起業家・官僚・政治家といったさまざまな人たちと協力しあい、ハワイ島マウナケア山頂(外国領土)に単一鏡としては世界一の口径の大望遠鏡「すばる」建設を実現しました。世界中の夢をせおった人類の眼「すばる」の構想から完成まで、20年の歳月がかかりました。この実行力の源は日比谷高校で培われたと先輩は述べています。また、他にも恒星のスペクトル解析によって星の物理モデルを構築する恒星の研究なども行なっ

ているばかりでなく、本校の伝統行事・勝山臨海教室の古式泳法・神伝流の達人でもあります。

平成10年に小惑星6500番に「KODAIRA」と命名、平成11年に菊池寛賞受賞、平成13年にカーン・シュヴァルツシルト賞(ドイツ国際天文学会)受賞など御活躍中です。そして日比谷高校の在校生へ、夢の実現に向けて信念を貫くことをよとして、「己を磨け、自分を信じて頑張れ!自分を生き抜け!」とメッセージを力強く発信し、母校を応援されています。



すばる望遠鏡がある国立天文台ハワイ観測所

星陵セミナー ～ ようこそ先輩 ～

本校では、「総合的な探究の時間」での進路探究の一環として2年生3月に「星陵セミナー」を実施しています。

日比谷高校の基本的姿勢の一つに、生徒にとって学校は深い知識と考える力を楽しむ場であるということがありません。

この星陵セミナーは、日比谷高校の諸先輩方の専門力が、

現役生徒の活動に示唆を与えられる場となっています。本校の同窓会である「如蘭会」の協力を得て、各分野にわたり卒業生を講師として配置し、生徒の選択により1教室10～20名前後、2時間半のゼミ形式で実施しています。

最先端で活躍されている先輩から直接講義を受け、あるいは質問ができ、生徒にとって大変有意義な時間です。

法律 長谷川卓也 H2 / 大崎・三木法律事務所 弁護士	空間建築デザイン 欽矢 悦朗 S57 / 東京大学 名誉教授
法律 吉田美菜子 S60 / マイル法律事務所	建築設計 建築意匠 岸田 省吾 S45 / 東京大学 名誉教授 岸田建築設計事務所 所長
経済(金融) 田邊 昌徳 S46 / 日本銀行OB	コスメチック研究開発 林田 啓佑 H23 / 東京大学 名誉教授 東京大学 東京カレッジ 副カレッジ長・特任教授
経済(商社) 井上 正敏 S48 / 三菱商事OB	機械工学(精密機械工学) 荒川 和彦 S48 / 極限環境ロボット(HERO)研究所 所長
教育・理科教育 牧野 順子 S48 / 元ライオン株式会社 多様な人材の活躍推進担当 部長	プロジェクト開発、事業経営 稲畑 廣行 S48 / 三菱電機 宇宙システム事業部長 三菱スペースソフトウェア 社長 ダイナミックマップ基盤株式会社 会長
経営(スタートアップ) 石原良太郎 S48 / 株式会社ロビーム 代表取締役社長	医学(産婦人科) 中嶋(大久保) 章子 S57 / 亀戸大島クリニック 院長 日本ペンクラブ会員
企業 柴田 実 S48 / 株式会社ヒューマンフォワード代表取締役 (経営コンサルタント) 前厚生労働省 女性の活躍推進協議会 委員	内科学・健康管理 加園 恵三 S49 / 医師・内科医 医療法人博仁会共済病院 健診センター
金融・経済/人事・教育/国際協力 白田 直哉 S46 / みずほ信託銀行OB 元JICAシニアボランティア	医学(緩和ケア) 清水 研 H2 / 公益財団法人がん研究会 有明病院 腫瘍精神科 部長
マスコミ(主に出版、ライツ) 矢代新一郎 S57 / 新潮社 コンテンツ事業室 室長	生物学、脳科学 鹿野 悠 H22 / スタンフォード大学 生物学科 M.Schnitzer 研究室 博士研究員 日本学術振興会 海外特別研究員
水文学 水資源学 辻村 真貴 S59 / 筑波大学 教授	新薬開発 中村 篤 S48 / メルクセローノ株式会社OB 臨床開発センター シニア・クリニカル・ディベロップメント・リーダー
データサイエンス 西田 義秀 H6 / 日本マイクロソフト株式会社 エンタープライズサービス事業本部アカウントテクノ ロジストラテジスト	(令和6年3月)
IT システムズ・エンジニア(SE) 大塚 純一 S48 / 日本アイ・ピー・エムOB ブロックチェーンベンチャー Kaula 社創業者、元CTO	
知識論 佐倉 統 S54 / 東京大学大学院 情報学環教授	

在校生より



生徒会長
田中 碧

こんにちは！

皆さんは、どのような高校生活を送りたいと考えていますか。勉学や部活動、SSHやGE-NET 20の活動など、日比谷生として様々なことにチャレンジしながら過ごす毎日を楽しみにされている方もいるかと思います。

日比谷高校は、皆さんが想像しているよりもずっとエキサイティングな環境です。熱意あふれる先生方や高い志をもつ仲間たちと共に学ぶ日常に加え、生徒自らが考え創りあげる日比谷高校三

大行事。体育大会、合唱祭、星陵祭では、今ここでしかできないことに、日比谷生は精一杯の汗と涙を流します。そして、日比谷高校での様々な経験とここで培った能力は、僕たちの進む道を切り拓く原動力となるにちがひありません。

日比谷高校を目指す皆さん、日比谷高校には他では味わえない充実した高校生活があります。最高の日比谷ライフ実現に向けて、勉強に励んでください。

日比谷高校で待っています。

進学指導重点校としての歩み

本校は、平成13年9月に東京都教育委員会より、進学指導重点校の指定を受け、さまざまな学校改革を行い、伝統的な公立進学校として前進しています。

■改革第1ステージ「骨太で重厚な進学校」

独自入試：平成13年、全国公立学校で初の独自入試を実施しました。

45分7時限授業：完全学校週5日制の開始に伴い、1日の授業数を45分7時限としました。これには、2時限続きの90(100)分授業や8・9時限の授業も組み込まれています。

補習・講習の充実：土曜講習、および1コマ90分で5日間を1講座とする夏期講習を数多く開設しています。

シラバスと授業評価：シラバスを生徒と教職員との共通の達成目標として位置付けています。また、生徒による授業評価を年2回実施し、結果を分析し課題発見の手がかりとしています。

進路指導の充実：3年間を見通した進路指導計画を作成し、実力試験・全国模試・保護者会・面談・講習・進路講演会等の配置を工夫し、生徒の状況に応じた柔軟な計画・実施に努めています。

進路指導システム：進学指導検討会を年2回実施しています。入試・定期考査・年3回(3年生は4回)の外部全国模試等の年間の定点を設定し、成績の推移と経年比較をもとに現状分析を行っています。

授業改革：教員同士の授業見学により質の向上を図っています。

星陵セミナーの実施：新3年となる準備として、各界に第一人者として活躍する卒業生を講師に迎えた「星陵セミナー」(約20講座同時展開)を開催しています。進路探究に有効なゼミ形式の講座となっています。

■改革第2ステージ「学問の本質を見極める力を培う」

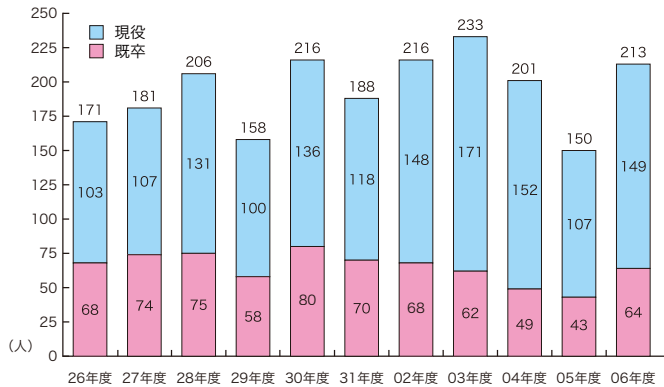
現役合格力の向上：平成19年、飛躍的な成果を出し、数値目標をすべて達成しました。特に、難関国公立大学を含む国公立大学・難関私立大学への現役合格力が向上しました。この原動力の1つは生徒の知的好奇心の向上です。

学問の本質の探究と自主自律の精神の涵養：改革第1ステージの成果を維持・発展させ、進学実績を向上させるため、学問の本質的な面白さや楽しさを味わわせる授業の構築を推進しています。特に、理数教育では学力向上に資するためSSHの指定校を受け、全科目履修型・教養主義カリキュラムの中で様々な事業(特別講演会・自主探究・生物臨海実習などの野外実習・科学コンテストへの挑戦)を展開しています。これらの取組を通して、本校は、「学ぶ楽しさ」を基本として「知の創造」を目指し、知の日比谷として未来に向かって前進しています。

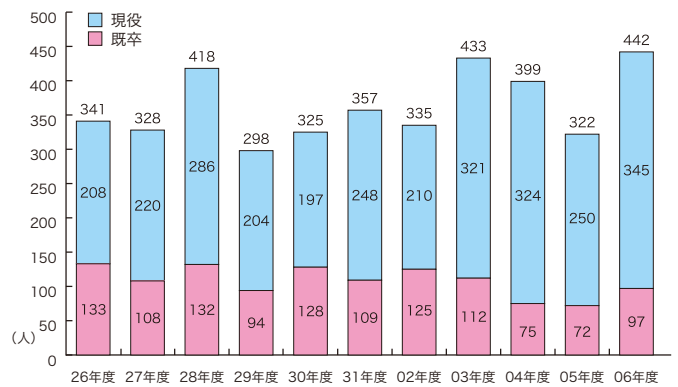
■改革第3ステージ「グローバル・リーダーの育成」

世界とのつながり：平成27年度、東京都教育委員会から「東京グローバル10」の指定を受け、新たな海外派遣研修である、ボストン・ニューヨーク研修を新設しました。ハーバード大、マサチューセッツ工科大訪問のほか、アスペン研究所での食料問題解決策のプレゼンテーションなど、世界に視野を向けた取組を始めました。また、ニュージーランド及び韓国の学校と姉妹校を締結し、平成29年度から相互交流活動を始めました。令和4年度からは新たにGE-NET20の指定を受け、諸活動を継続しています。

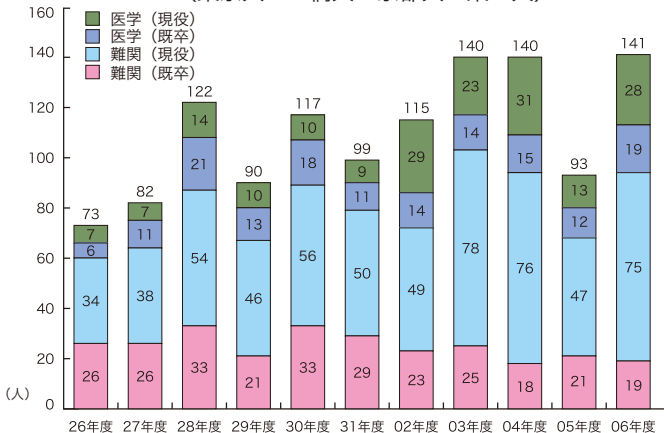
国公立大学合格者数



難関私立3大学合格者数(慶應大・早稲田大・上智大)



難関国立4大学+国公立医学部医学科合格者数
(東京大・一橋大・京都大・東工大)



■大学合格状況分析

難関国立大学や医学部医学科を志望する生徒が年々増えています。特に、東京大学への志望が高く、本年の合格者は60名(現役52名)でした。難関国立4大学と国公立医学部医学科の現役合格者数の合計は103名(防衛医大を含む)となりました。国公立大学の現役合格者数も149名となり、理系文系にとらわれない全科目履修型の教育課程を活用した形での進路実現が増えています。私立大学では、早稲田大学にのべ201名(現役155名)、慶応大学にのべ158名(現役121名)が合格しました。

進学指導重点校・SSH・Global Education Network 20を背景に、今後は改革を次のステップに進化させながら、現役合格を指導の中心に置き、生徒一人一人の進路実現を図り、進学実績の向上を目指します。

令和6年度主要大学合格者数 () は現役合格者数

令和6年4月16日現在

①国公立大学 (文部科学省所管外大学校を含む)

	R06年度	R05年度		R06年度	R05年度
東京大	60 (52)	51 (33)	東京医科歯科大	5 (4)	3 (3)
一橋大	16 (14)	10 (7)	東京外国語大	7 (5)	7 (5)
東京工業大	7 (2)	4 (3)	東京学芸大	1 (0)	4 (4)
京都大	11 (7)	4 (4)	東京芸術大	1 (1)	1 (1)
北海道大	12 (5)	3 (3)	東京農工大	5 (3)	6 (5)
東北大	7 (4)	4 (3)	横浜国立大	11 (8)	10 (9)
名古屋大	1 (0)	0 (0)	東京都立大	5 (2)	2 (1)
大阪大	2 (1)	1 (0)	横浜市立大	3 (1)	0 (0)
筑波大	7 (6)	4 (3)	国際教養大	2 (1)	0 (0)
千葉大	13 (11)	8 (6)	他	34 (18)	22 (12)
お茶の水女子大	4 (4)	6 (5)	国公立大学合計	214 (149)	150 (107)

②国公立大学医学部医学科

	R06年度	R05年度		R06年度	R05年度
北海道大	1 (0)	0 (0)	信州大	7 (5)	3 (1)
秋田大	1 (0)	1 (1)	名古屋大	1 (0)	0 (0)
山形大	2 (1)	1 (1)	京都市大	2 (2)	0 (0)
筑波大	1 (1)	1 (0)	長崎大	2 (0)	0 (0)
群馬大	1 (1)	0 (0)	熊本大	1 (1)	0 (0)
千葉大	4 (4)	4 (2)	福島県立医科大	1 (1)	0 (0)
東京医科歯科大	4 (3)	1 (1)	横浜市立大	3 (1)	0 (0)
新潟大	2 (2)	0 (0)	防衛医科大	8 (5)	2 (1)
富山大	1 (1)	1 (0)	他	4 (0)	10 (5)
山梨大	2 (0)	1 (1)	国公立医学部合計	48 (28)	25 (13)

③私立大学

	R06年度	R05年度		R06年度	R05年度
早稲田大	201 (155)	176 (137)	国際基督教大	4 (2)	2 (2)
慶應義塾大	158 (121)	78 (55)	東京農業大	7 (7)	2 (2)
上智大	83 (69)	66 (56)	芝浦工業大	15 (7)	10 (8)
東京理科大	153 (101)	78 (54)	津田塾大	3 (2)	5 (5)
青山学院大	25 (17)	27 (22)	東京女子大	2 (2)	1 (1)
学習院大	6 (6)	2 (2)	日本女子大	6 (6)	0 (0)
中央大	53 (34)	42 (29)	同志社大	10 (3)	0 (0)
明治大	107 (81)	76 (51)	立命館大	9 (2)	2 (2)
立教大	37 (32)	46 (39)	他	129 (69)	77 (67)
法政大	28 (11)	16 (11)	私立大学合計	1036 (727)	706 (543)

④私立大学医学部医学科

	R06年度	R05年度		R06年度	R05年度	
東北医科薬科大	3 (3)	0 (0)	帝京大	2 (0)	3 (2)	
国際医療福祉大	17 (12)	7 (6)	東海大	2 (0)	1 (1)	
自治医科大	1 (1)	0 (0)	東京慈恵会医科大	4 (4)	2 (1)	
北里大	2 (0)	0 (0)	東邦大	3 (2)	1 (0)	
杏林大	3 (1)	4 (3)	日本医科大	6 (3)	1 (1)	
慶應義塾大	3 (3)	1 (1)	聖マリアンナ医科大	1 (0)	1 (1)	
順天堂大	10 (9)	1 (1)	他	1 (0)	6 (4)	
昭和大	5 (3)	0 (0)	私立医学部医学科	63 (41)	28 (21)	
				医学部医学科・国公立・私立計	111 (69)	53 (34)

海外の大学

	R06年度	R05年度		R06年度	R05年度		R06年度	R05年度
King's College London	1 (1)	2 (2)	The University of Queensland	1 (1)		Loyola Marymount University		1 (1)
University of Bristol	1 (1)	1 (1)	University of Cambridge		1 (1)	University of Southern California		1 (1)
The University of Manchester	1 (1)		University of Edinburgh		1 (1)	UC Davis		1 (1)
The University of Sheffield	1 (1)		University of Sussex		1 (1)	US San Diego		1 (1)
The University of Melbourne	1 (1)		Santa Monica College		1 (1)	海外の大学合計	7 (7)	12 (12)
The University of Sydney	1 (1)		Baylor University		1 (1)			

校歌

都立日比谷高校校歌

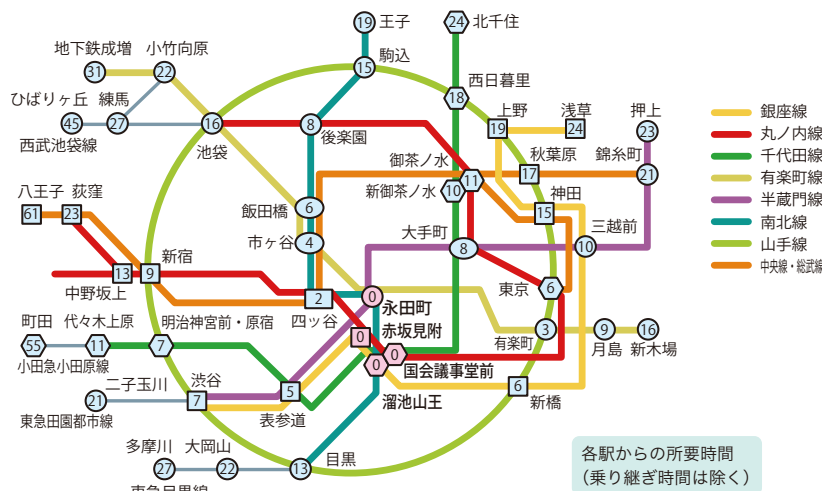
土岐善磨 作詞
篠原 真 作曲

一、星陵 われらあり
自由の天地
希望の空ひろく
雲晴るるとき
大いちょう みどりに茂り
やがてまた 風に黄ばめば
過ぎ来し年 更に新たに
進みゆく道は あかるし

二、かがやく富士も見ゆ
かすむは海か
世界の中に立ち
意気たゆみなく
かぎりなき真理を 究め
求むべし ともに 平和を
正しくみな 自主を誓って
友情の胸を 開かん

ああ若き日の よろこびに
歴史を誇る 日比谷高校

主要通学経路・時間 全都から日比谷へ



本校へのアクセス



※表紙写真

令和5年度1年在学写真部生徒作品

表紙「日比谷」毛筆タイトル

令和6年度2年在学生徒作品

東京都立日比谷高等学校

住所 〒100-0014 東京都千代田区永田町 2-16-1

電話 03 (3581) 0808

ファクシミリ 03 (3597) 8331

ウェブサイト

<https://www.metro.ed.jp/hibiya-h/>



学校説明会等の御案内

実施日程	内容	時間	会場	実施日程	内容	時間	会場
R6.7/15(月)	学校見学会	9:30/11:00	星陵会館	8/15(木)	小学生対象学校見学会	13:00	星陵会館
7/23(火)	学校見学会	9:30/11:00	星陵会館	10/12(土)	学校説明会	9:30/11:00	星陵会館
7/24(水)	学校見学会	9:30/11:00	星陵会館	11/9(土)	学校説明会	10:00/14:00	星陵会館
8/13(火)	学校見学会	9:30/11:00	星陵会館	12/7(土)	入学相談会	9:30/11:00 13:30/15:00	本校
8/14(水)	学校見学会	9:30/11:00	星陵会館	R7.3/22(土)	学校説明会	9:30/11:00	星陵会館

*日程・詳細等は本校ウェブサイトでご確認ください



校舎南側



校舎正面



体育館棟



星陵会館



勝山寮



記念資料館

星陵会

星陵会とは本校と本校 PTA および同窓会等から選出された理事・評議員で運営されている公益財団法人です。

本校に隣接する星陵会館と千葉勝山寮を運営し、生徒の活動を援助しています。

